

第16回小児がん拠点病院連絡協議会

昨年度の事業報告と今年度の事業計画について

東北ブロック

小児がん拠点病院：東北大学病院

令和4年6月13日

小児がん拠点病院としての 東北大学病院内の取組み

＜東北大学病院の中核・拠点病院指定＞

がん診療連携拠点病院

＞東北大学病院がんセンター

小児がん拠点病院

＞小児腫瘍センター

臨床研究中核病院

＞臨床研究推進センター

造血細胞移植拠点病院

がんゲノム医療中核病院

＞個別化医療センター

東北大学病院内における小児がん診療体制

1. 東北大学病院がんセンター内に<小児腫瘍センター>を組織化した。

2. 入院環境の整備

病棟内セミクリーン域（個室6床）
の設置とプレイルーム増設（右写真）



3. 医療安全対策の強化

医療安全推進室との連携強化

4. 臨床試験、がんゲノム医療の推進

臨床研究中核病院として、臨床研究推進センターの支援による臨床試験の実施
がんゲノム医療中核病院として、個別化医療センターによるがんゲノム医療の提供

5. AYA世代への支援体制の強化

AYAルームの整備

高校生への学習支援（医学部生ボランティアサークル支援）

県教育庁との連携による遠隔授業体制の構築と運営

宮城県がん生殖医療ネットワークによる生殖医療の情報提供

6. 脳脊髄腫瘍の診療体制の強化

脳神経外科と小児科の定期的なカンファレンス

7. 長期フォローアップ外来、移植後フォローアップ外来の充実

週2回の長期フォローアップ外来体制

医師、専属看護師、臨床心理士による月4回の移植後フォローアップ外来

8. 多職種スタッフによる小児がん総合カンファレンス

医師、看護師、臨床心理士、CLS、MSW、院内学級教師、保育士による

週1回の定期開催

9. 緩和ケアチームとの連携強化

東北大学病院がんセンター内での連携体制による、早い段階からの介入

10. 遠隔医療設備の充実

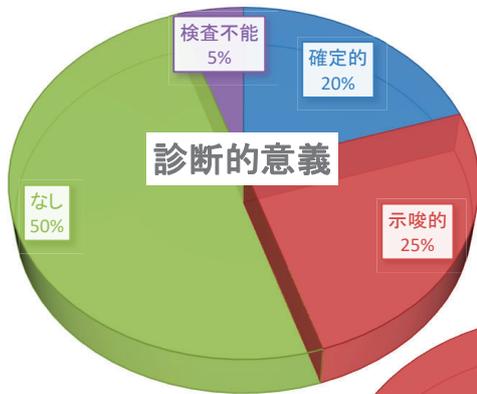
宮城県立こども病院との、インターネットカンファレンス設備を導。

東北地区小児がん連携病院9施設との、インターネットカンファレンス設備を
導入

11. 小児腫瘍センターホームページ、小児がん相談室の開設

病院ホームページに小児腫瘍センターに関するHPを開設し情報公開を行う。

小児がん相談室において、各種相談受付を行っている。



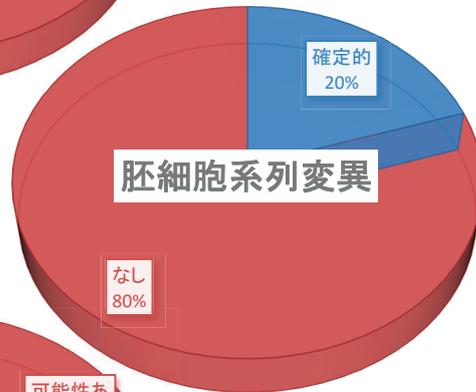
診断確定:

SMARCB1 (AT/RT) x2

EWSR1-FLI1 (EWS)

CLTC-ALK (IMT)

2例は診断変更 (MB → AT/RT、IFS → IMT)



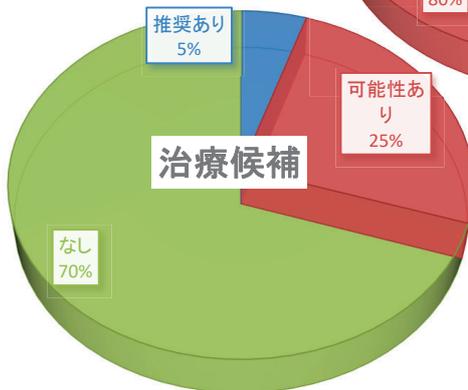
胚細胞系列変異: 確定4例

TP53 x2

SMARCB1

(Rhabdoid-predisposition syndrome)

TSC2



治療候補:

RTK系 (ALK, EGFR, MET) → 1例 ALK阻害剤投与 著効

mTOR系 (TSC2)

CDK, CDKi系 (CDKN2A/B, CDK4)

HRD系 (MRE11)

小児がん多職種スタッフの構成

1. 医師

血液腫瘍免疫グループ

スタッフ医師 6名

+ 後期研修医 2名

2. 看護師

小児専門看護師

緩和ケア専門看護師

長期フォローアップ専任看護師

3. 院内学級教師

4. 臨床心理士 4名

5. MSW 2名

6. CLS 1名

7. HCTC (造血細胞移植コーディネーター) 1名

8. 病棟保育士 4名

9. 病棟薬剤師 2名

長期フォローアップ外来、移植後フォローアップ外来

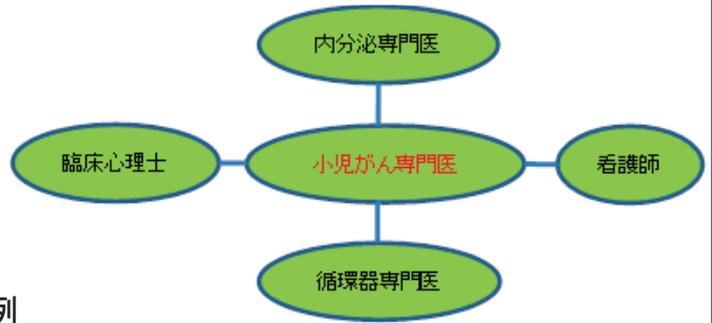
長期フォローアップ外来

- ・月曜日、金曜日午後に開設。
- ・内分泌専門医、循環器専門医、看護師、臨床心理士と連携して診療を行う。
- ・宮城県がん生殖医療ネットワークを設立。

小児がん専門医: 2名

外来患者数:

治療終了後5年以上経過 月10-20例



移植フォローアップ外来

- ・第2、第3週の月曜日、金曜日に開設。
- ・内分泌専門医、循環器専門医、看護師、臨床心理士、MSWと連携して診療を行う。
- ・月初めに小児がん専門医と上記担当者が事前にカンファレンスを行う。
- ・問診票の作成、記録。

小児がん専門医: 2名

外来患者数: 月20例前後

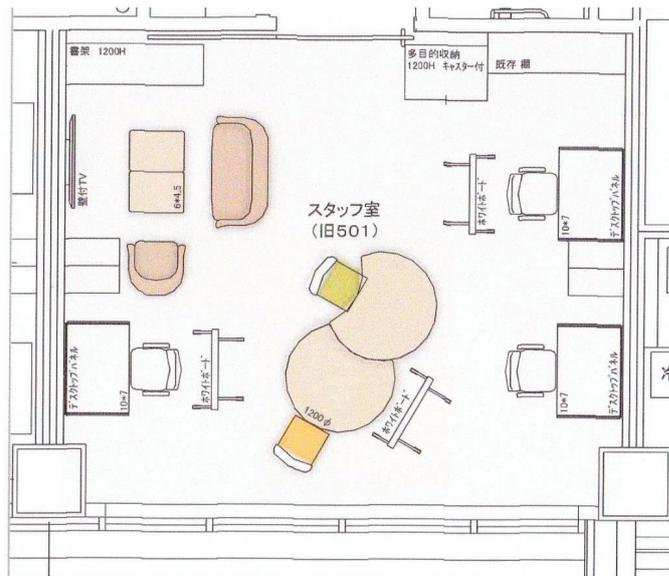
カンファ(月1回、金曜日)

- ・次回外来患者のFU内容の確認
- ・外来受診患者の申し送り

外来

- ・専門Nrs.による指導
- ・診察
- ・問診票による問診、記録

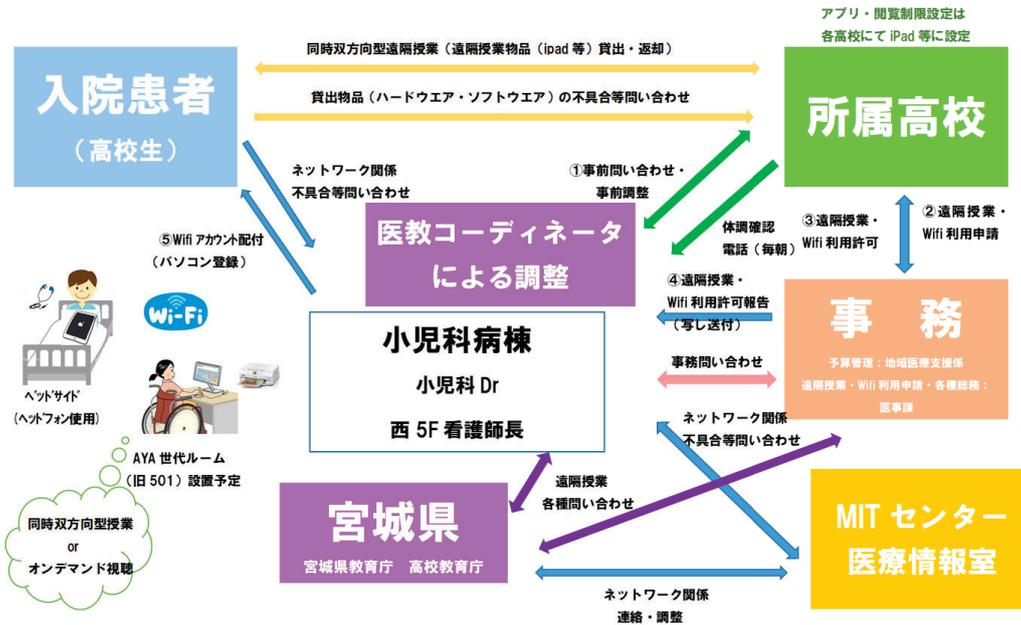
AYAルームの整備強化 ～AYA世代への対応～



復学支援のための学習スペース
学習環境の整備
原籍高からの遠隔授業
同世代間の語らいの場所

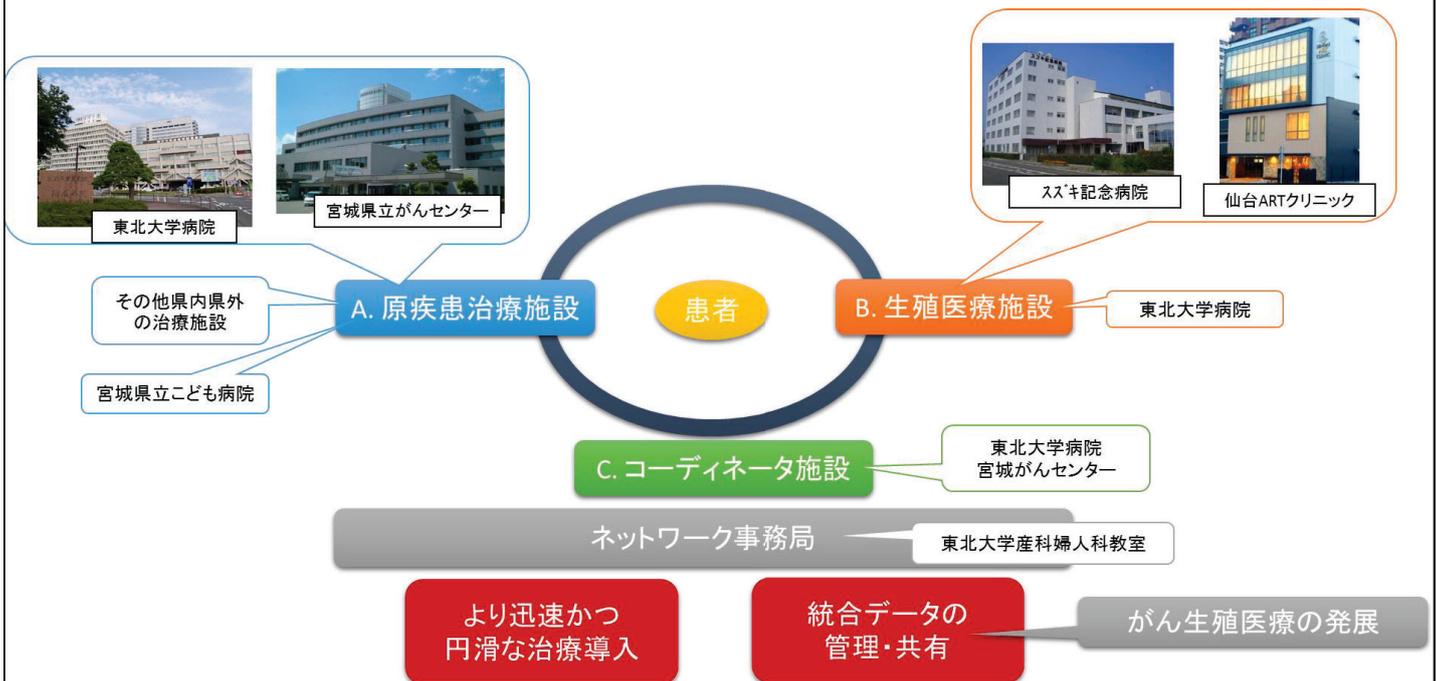
高校生の復学支援に向けた県・教育行政との連携 (宮城県の場合) ~AYA世代への対応~

高校生の遠隔授業における連絡体制



医教コーディネータの配置
=各県で同等の制度整備を進める

宮城県がん生殖医療ネットワーク ~AYA世代への対応~



小児がん相談室



開設日: 月曜～金曜日(祝日を除く)
 時 間: 8:30～17:15(受付は16:00まで)
 電 話: 022-717-8662(直通)

小児腫瘍センター ホームページ

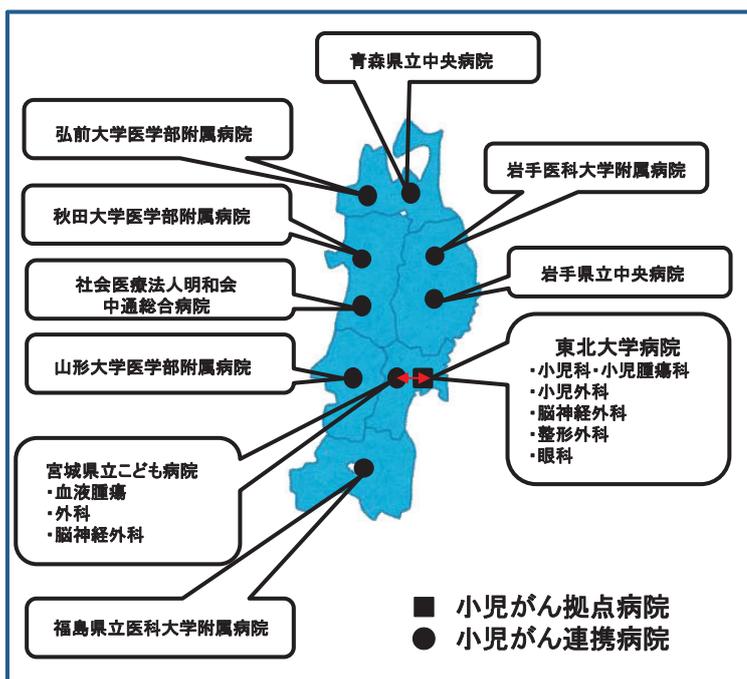
ご家族向けの小児がんの
 包括的なサポートハンドブック
 の作成

<https://www.ped-onc.hosp.tohoku.ac.jp/>



小児がん拠点病院における 東北ブロックとしての取組み

東北ブロック小児がん医療提供体制協議会の構成



小児がん拠点病院(1施設)
・東北大学病院

宮城

小児がん連携病院(9施設)

- ・弘前大学医学部附属病院
- ・青森県立中央病院
- ・秋田大学医学部附属病院
- ・社会医療法人明和会 中通総合病院
- ・岩手医科大学附属病院
- ・岩手県立中部病院
- ・山形大学医学部附属病院
- ・宮城県立こども病院
- ・福島県立医科大学附属病院

青森
青森
秋田
秋田
岩手
岩手
山形
宮城
福島

青森県立中央病院
岩手県立中部病院

> 長期フォローアップ中心の診療

東北ブロックで小児がん拠点病院に集約すべき対象疾患・病態

- 1) 再発あるいは難治性症例（新規治療治験対象症例も含む）
- 2) 高度の手術手技と集学的治療を要する脳腫瘍症例
- 3) 原発性免疫不全症を基礎疾患とした特殊な病態を伴う症例



均てん化と集約化のバランス

拠点病院での
病床数の制限

遠隔医療
病院間の連携強化

連携病院の
診療体制の強化

東北ブロック連携のための具体的方法

2) 小児がん診療病院間の情報収集と提供：遠隔医療体制

宮城県立こども病院との合同カンファレンス

開催回数：月1回 テレビカンファレンス および3月毎に対面カンファレンス

内容：小児がん症例検討と情報共有

東北ブロック小児がん診療病院合同WEBカンファレンス

全小児がん診療病院がネットワーク接続可能となっている

東北がんネットワーク 小児がん専門委員会

開催回数：年3回の定期開催

内容：小児がん症例検討と情報共有

TV会議システムを活用

若手医師のメーリングシステム

3) ブロック協議会の下に設置する部会

東北ブロック小児がん相談支援部会

開催回数：年2回の定期開催

内容：相談支援に関する勉強会と施設間の情報交換、メーリングシステム

職種：看護師、臨床心理士、院内学級教師、保育士、CLS、MSW

TV会議システムを活用

東北ブロック小児がん相談支援部会WEBカンファレンス

今年度の合同WEBカンファレンスの予定

1. 東北ブロック小児がん診療病院合同WEBカンファレンス

第18回 2022年10月21日(金) 6:00PM-

第19回 2023年1月20日(金) 6:00PM-
7月16日にJACLS/CCLSGセミナーを共催

2. 東北ブロック小児がん相談支援部会WEBカンファレンス

2022年度第1回 2022年8月頃を予定

2022年度第2回 2023年2月頃を予定

3. 主催セミナー

妊孕性に関するセミナー 2022年7月30日(土)

復学支援に関する特別講演会 2022年8月頃を予定

北海道・東北ブロック合同研修会(きょうだい支援)

2022年7月30日(土)

LCAS主催

2022年12月17日(土)

同種造血幹細胞移植後予防接種の無償化に向けた
行政との連携

仙台市は2019年4月に助成制度を設置した。

宮城県内の各自治体も2020年4月から助成制度を
開始した(宮城県の支援あり)。

東北地区各県でも同様の取り組みが進んでいる。